

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月24日 (2010.12.24)

【公開番号】特開2009-198595(P2009-198595A)

【公開日】平成21年9月3日 (2009.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-035

【出願番号】特願2008-37806(P2008-37806)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/34 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 2 F 1/133 5 3 5

G 0 2 F 1/133 5 5 0

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/34 J

G 0 9 G 3/20 6 5 0 J

G 0 9 G 3/20 6 4 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月26日 (2010.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フレーム周波数を制御する周波数制御手段と、  
画像データに基づいてバックライトの発光輝度を制御する調光手段と、を備え、  
前記周波数制御手段は、前記調光手段が制御する前記バックライトの発光輝度に対応する  
ように前記フレーム周波数を制御することを特徴とするアクティブマトリクス型液晶表示装置。

【請求項 2】

前記周波数制御手段は、各画素の液晶に印加される電圧の平均値が小さくなるにしたがって、または、液晶に印加される電圧が所定の閾電圧よりも小さくなる画素の割合が大きくなるにしたがって、前記フレーム周波数を低下させることを特徴とする請求項 1 に記載のアクティブマトリクス型液晶表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

上述の目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明に係るアクティブマトリクス型液晶表示装置は、フレーム周波数を制御する周波数制御手段と、画像データに基づいてバックライトの発光輝度を制御する調光手段と、を備え、前記周波数制御手段は、前記調光手段

が制御する前記バックライトの発光輝度に対応するように前記フレーム周波数を制御することを特徴とする。

また、請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載のアクティブマトリクス型液晶表示装置において、前記周波数制御手段は、各画素の液晶に印加される電圧の平均値が小さくなるにしたがって、または、液晶に印加される電圧が所定の閾電圧よりも小さくなる画素の割合が大きくなるにしたがって、前記フレーム周波数を低下させることを特徴とする。